



平成27年2月27日

各位

会社名 株式会社きんえい  
代表者名 取締役社長 丸山 隆司  
(コード番号 9636 東証第2部)  
問合せ先 取締役経理部長 好井 裕一  
(TEL. 06-6632-4553)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成26年9月8日に公表いたしました平成27年1月期(平成26年2月1日～平成27年1月31日)通期個別業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成27年1月期通期個別業績予想数値の修正(平成26年2月1日～平成27年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,200	120	130	60	21.50
今回修正予想(B)	3,269	150	164	78	28.26
増減額(B-A)	69	30	34	18	
増減率(%)	2.2	25.8	26.5	31.4	
(ご参考) 前期実績(平成26年1月期)	3,216	110	98	52	18.86

#### 2. 修正の理由

平成26年9月8日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり、第2四半期累計期間の業績の好調を踏まえ、営業利益、経常利益および当期純利益の平成27年1月期業績予想額を増額修正いたしました。これは、ディズニー映画「アナと雪の女王」の記録的な大ヒットにより、シネマ・アミューズメント事業部門の売上高が当初の見通しに比べ大幅に増収となったこと等に因るものであります。

下半期は、昨年3月の「あべのハルカス」全面開業に伴い増加する阿倍野地区来街者を、同地区唯一の映画館である当社「あべのアポロシネマ」の顧客に取り込む販売促進活動を継続して進めており、営業活動による映画鑑賞人数の増加は織り込んでおりましたが、上半期の「アナと雪の女王」のような上映作品を想定することは難しく、不動産事業部門と合せた会社全体の売上高は上半期に比べ減収を見込んでおりました。しかし、想定していたよりも上映作品に恵まれたこともあり、減収幅は想定よりも少なくなる見通しで、通期の売上高については増収となる見込みであります。

一方、費用の面では概ね計画どおりとなりました。

これらの状況を踏まえて、上記のとおり通期個別業績予想を修正いたします。

(注) 上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる結果になる可能性があります。

以上